

時評

KMバレエスタジオ 2022コンサート

安積バレエ研究所(現・大阪バレエアカデミー)で育ち、原田高博にも師事、牧阿佐美バレエ団で活躍後、大阪に戻った国田美和が2001年に開校したスタジオのコンサート。

ンストン、長谷川元志、豊永太優、藤本華奈、大久保彩香ほか。

11月27日(日)14時、神戸文化ホール大ホール。90000〜60000円。問合せは同団080・5341・3555

小さな子供達が丁寧に指導されていることも感じたが、特に印象に残ったのは、大人になってから始めた生徒の方々に、その個性や実力に合わせてチャンスが与えられていること。長く続けている方々には、ヴァリエーションだけでなく、ラストの演目「ドン・キホーテ第1幕よりハイライト」の中で、街の人達として男性(若崎賢人)と組んで踊る機会も用意されていた。その振付が、またよく工夫されていて、踊る人に無理させすぎず、難しすぎて崩れることなく美しく観せることができ

るように、だが少し成長のための挑戦になっているという感じ。やりがいを持って発表会に臨まれ

たことが想像できる。だから、この教室は長く続ける熱心な大人の方が多いのだと納得できる。

その「ドン・キホーテ」、主役キトリ&バシルは国田と山本隆之。さすがのベテランカップルで安心して観ることができる仕上がりがだった。優しげで、色男ぶりも自然、

細やかな演技の山本、そして国田はやはり、こういう洗練とした役がとてもよく似合う。なかでもキトリは数え切れないくらい何度か踊って来た役だろう。メリハリも間合いも絶妙で快活、シャープでスピーディなシエネは衰えず、観ていてとても気持ち良かった。

国田は、来年5月28日に吹田メイシアターで行われる40歳以上のバレエダンサーによる公演に主演予定で、指導も行うと聞く。こちらは幼い頃から経験者が多くなるからとは想像しつつも、こちらもとても楽しんだ。



ドン・キホーテ第1幕よりハイライト

(松あつこ)

KMバレエスタジオ 2022コンサート
(8月13日、クレオ大阪中央)

撮影：古部聖二(テラス大船)

の芸術的
キャサリン
ら3名の
子、島崎
2日目
查を経た
查には48
テンボラ
はなく自
異なるけ
ールの上
代の才能
リソント
なじみの
に躍動す
きな拍手
決選進
ユニアタ
2名、シ
そこから
渡航費込
する。齋
フローラ
Vnで上体
がいの踊